日本中国語学会第62回全国大会プログラム

2012年10月27日(土), 28日(日)同志社大学京田辺キャンパス

Ⅰ. 前　日　10月26日（金）

17:00～19:00　理事会（夢告館一階会議室）

Ⅱ. 第１日　10月27日（土）

10:30～12:00　評議会（恵道館二階KD202）

12:00～　受　付（恵道館二階）

13:00～13:10　開会式（恵道館二階KD201）

開会の辞　日本中国語学会会長　古屋　昭弘（早稲田大学）

学会奨励賞授与

13:10～14:10　講演「从不同的视野研究汉语」徐 丹(フランス国立東洋言語文化大学)

（講演稿は会期1ヶ月前から学会ホームページに掲載されます。）

14:10～14:30　質疑応答　司会　平田　昌司(京都大学)

休　憩

14:50～16:50　ワークショップ

1.「実験的手法による言語研究およびその教育への応用

－中国語･日本語･英語を中心として」（恵道館二階KD204）

第１セッション：実験的手法による音声の研究と教育への応用

朱　春躍(神戸大学),MRI や音響分析の手法による音声研究と中国語教育への応用

林良子(神戸大学),視覚フィードバックによる外国語音声習得研究と CALL 教材の開発－日本語・英語を中心に

第２セッション：実験的手法による統語・意味論研究と言語教育への応用

孟子敏(松山大学),命令文・疑問文についての ERP を用いた脳波実験研究

横川博一(神戸大学),実験的手法で探る統語・意味論研究と第二言語教育への応用

2.「漢語詞彙史研究的回顧與展望」（恵道館二階KD202）

方一新(浙江大学), 從注疏語言看中古詞義的演變

竹越孝(神戸市外国語大学), “語義場”與近代漢語詞彙史研究

松江崇(北海道大学), 關於古漢語詞彙雙音化研究的幾點建議

鈴木史己(京都大学), 詞彙史研究與語言地理學研究

17:00～18:00　総　会（恵道館二階KD201）

18:15～20:15　懇親会（京田辺カフェテリア二階）

Ⅲ. 第２日　10月28日（日）

9:00～　　受　付（知真館3号館1階テラス）

9:30～11:10　分科会研究発表 午前の部（知真館3号館1階）

11:10～12:10　ポスターセッション（知真館3号館1階114）

12:10～13:00　昼食・休憩（知真館3号館1階116）

13:00～16:30　分科会研究発表 午後の部（知真館3号館1階）

ポスターセッション

会場（知真館3号館1階114）11:10～12:10

1. 袁　暁今（大阪大学），中国語の名詞句「XX 的人」と複合名詞「XX 人」に関する考察
2. 小野　絵理（大阪大学），英中日対訳から見た指示詞の選択基準とその優先順位
3. 陳　莉娭・蘇　建唐（台湾東海大学・国立清華大学），從認知看近義結構「又Ａ又Ｂ」與「一邊Ａ一邊Ｂ」
4. 鄧　冠明（国立清華大学），台灣閩南語「人稱代詞+名詞」與「人稱代詞+ e^5 +名詞」之比較研究
5. 莊　淨婷（国立清華大学），臺灣閩南語中日文借字的不透明聲調還原
6. 西宮　藍子（早稲田大学），中国語における発音教育―音素の正確さと流暢さ―
7. 落合　守和（首都大学東京），『啓蒙画報』の言語について
8. 夏　天驕（ＪＣＬ外国語学院），同義方位詞「里」と「中」をめぐる一考察
9. 洪　潔清（千葉大学），実践的コミュニケーション能力の向上を図る授業づくり――留学生を招く交流型学習の試み――
10. 陳　彦君（台湾大学），從詞族研究角度論「孚」及其諧聲字的語義發展
11. 干野　真一（新潟大学），中国語 CM を用いた言語文化教育について
12. 尹　美蓮（新潟大学），存在文“着”構文と“了”構文の文法的使い分けと意味的分析
13. 張　瑞（新潟大学），介詞“对”と“向”の文法的使い分けと意味的分析
14. 張　群・蕭　景峻・王 小梅（国立台中科技大学・国立清華大学），漢語視覺動詞「看」的語法研究：以清代《紅樓夢》和《荔枝記》文本為例
15. 簡　靖倫（大阪大学），論『左傳』中的「連詞脫落」是省略?還是隱含?
16. 楊　彩虹（立命館大学），能動文と受身文における完了アスペクト
17. 蕭 景浚・張 群（国立清華大学・国立台中科技大学），漢語助詞「這樣的話/那樣的話」的語用分析
18. 楊　虹（鹿児島県立短期大学），试论汉语自然口语中“觉得/感觉”的语用功能
19. 中司　梢（早稲田大学），手に関わる動作動詞の意味体系について

分科会研究発表（10月28日）

第1会場（知真館3号館1階117）9:30～11:10　　司会　平井　和之（日本大学）

鈴木　靖（法政大学），オンライン・ディクテーション・システムを利用したブレンド型学習について

吳　賢妃・顏　靜馨（台湾東海大学・台湾中正大学），去逛街：框架理論在對外漢語教學的應用

砂岡　和子・古川　裕（早稲田大学・大阪大学），言語接触がもたらす中国語教学環境と資源の変容

13:00～14:40　　司会　丸尾　誠（名古屋大学）

張　素娟（新潟大学），中国語の“能”と“会”の意味特性と使用条件の相違―数量表現との共起可能性から―（有講評）

楊　安娜（北海道大学），“VR 了的 N”構造における“了”の生起について（有講評）

下地　早智子（神戸市外国語大学），日本語と中国語の連体節の構造と意味―いわゆる「外の関係」の「内容節」を中心に

14:50～16:30　　司会　佐々木　勲人（筑波大学）

鄭　若曦（東京大学），存在状態を表す「″了″存現文」と「″着″存現文」の意味機能

葉　瑞娟・黃　漢君（国立新竹教育大学），客語「NP V-起來 XP」格式：中間結構？

夏　海燕（神戸大学），中国語における語彙的受身動詞と受身標識の接点

第2会場（知真館3号館1階103）9:30～11:10　　司会　三木　夏華（鹿児島大学）

黃　漢君・葉　瑞娟（国立新竹教育大学），客語「分」與「摎」在受惠者角色上的分工

葉　秋杏・賴　惠玲（国立政治大学），臺灣客語「好得」之情態演變：語法化、詞彙化及主觀性

福田　翔（東京外国語大学），知覚動詞につく可能補語〈-得/-不得〉の意味と構造―意図性と受影性―

13:00～14:40　　司会　三宅　登之（東京外国語大学）

西村　英希（神戸市外国語大学），“都 XP 了”构式的消极情态意义

上田　裕（筑波大学），発見表現が成立するための語用論的条件　―名詞一語文と存在文を中心に―

徐　富美（台湾元智大学），現代漢語的「我者」視角

14:50～16:30　　司会　張　勤（中京大学）

鍾　叡逸・蔡　維天（台湾清華大学），模態性與主語殊指性：從模態詞談不定主語核准機制

中田　聡美（大阪大学），現代中国語における“是”の主観性と接続機能について

王　慶（九州大学），集合のタイプ別から捉える量化解釈と疑問解釈

第 3 会場（知真館 3 号館 1 階 104）9:30～11:10　　司会　瀬戸口　律子(大東文化大学)

宮本　大輔（福岡大学），コミュニケーションに見る語気助詞の使用―テレビドラマを材料として―

游　韋倫（神戸大学），中国語の擬音語の表音性について

張　恒悦（立命館大学），日中両言語における擬声語の対照研究

13:00～14:40　　司会　森　宏子(流通科学大学)

陳　奕廷（神戸大学），中国語結果複合動詞の結合制約と意味形成について：フレーム意味論の観点から

金　晶（香港理工大学），从汉语无定短语[Cl+N]的解读看“V-完”类复合词的语义特征

王 欣・祝　東平（島根大学・吉林大学），数量词与否定词的语序对否定语义的规约

14:50～16:30　　司会　大西　博子(近畿大学)

李　智麗（熊本大学），取り立て副詞“就”に関わる音調について

包　聯群（首都大学東京），モンゴル語と中国語の接触による形容詞カテゴリーの簡略化

陳　雅玲（国立清華大学），印尼籍看護的華語語音偏誤分析

第 4 会場（知真館 3 号館 1 階 105）9:30～11:10　　司会　松江　崇(北海道大学)

蔡　娟（大東文化大学），复合趋向补语结构中宾语后移的演变时代

王　錦慧（台湾師範大学），說「V 個」結構的歷史發展

連　金發（国立清華大学），“物”系疑問詞“什麼”的演變: 語法化的動因及歷程

13:00～14:40　　司会　岩本　真理(大阪市立大学)

熊　娟（北海道大学），东福寺写本《参天台五台山记》词汇性质及在汉语词汇史上的价值

千野　万里子（杏林大学），同義並列語に見られる南北差

伊伏　啓子（台湾静宜大学），クロフォード（T.P. Crawford.1821-1902）の中国語研究

14:50～16:30　　司会　竹越　孝(神戸市外国語大学)

山田　大輔（北海道大学），上古漢語の語気詞“矣”の機能について―『左伝』の用例を中心に―

宮下　尚子（熊本大学），元代漢語本『老乞大』に見える指示詞としての〈恁〉（有講評）

山崎　雅人（大阪市立大学），中国語の“是～的”構文と満洲語文語の動名詞述語構文

第 5 会場（知真館 3 号館 1 階 106）9:30～11:10　　司会　石　汝杰(熊本学園大学)

陳　怡君（金沢大学），以方言分布試論漢語南方方言指示代詞發展傾向（有講評）

林　緑茜（国立政治大学），台湾闽语合音词之随韵保留的声调：以优选理论分析（有講評）

謝　豐帆・張月琴（国立清華大学），台灣海陸客家話不同音節結構下的元音音質變異研究

13:00～14:40　　司会　秋谷　裕幸(愛媛大学)

張　月琴・莊　淨婷（国立清華大学），檳城福建話的聲調系統研究

劉　秀雪（国立新竹教育大学），莆仙方言聲調探析

陳　淑娟（国立新竹教育大学），台灣宜蘭市閩南語方言的語音變異與變化

14:50～16:30　　司会　遠藤　雅裕(中央大学)

申　祐先（台湾大学），從「齷齪」探討詞義發展的多向性

許　婷婷（国立清華大学），閩南語能性情態式「$e^{7}Ve^{0}$」的詞彙化動因與機制

蘇　建唐・王　小梅（国立清華大学），「共」及其近義詞演變―詞彙競爭和詞彙重整

第 6 会場（知真館 3 号館 1 階 107）9:30～11:10　　司会　遠藤　光暁(青山学院大学)

野原　将揮（早稲田大学），戦国出土資料から見た上古中国語無声鼻音再構（有講評）

秋谷　裕幸（愛媛大学），原始宁德方言音系的构拟及其历时涵义

林　蕙珊（国立台湾師範大学），成都话的重迭词变调

13:00～14:40　　司会　太田　斎(神戸市外国語大学)

王　世豪（国立台湾師範大学），說文解字飲食字組詞義性質與方言区域研究

平田　昌司（京都大学），慧琳「次辯文字功德及出生次第」について

呂　昭明（松山大学），论“文献诠释”与“音韵构拟”－从“高本汉－蒲立本模式”的论争说起

14:50～16:30　　司会　鈴木　慎吾(大阪大学)

吉川　雅之（東京大学），１８２２年刊ドイツの百科事典的雑誌に記された粤語音

濱田　武志（東京大学），珠江流域の両粤省境地域の介音-i-を有する粤語方言

吳　瑞文（中央研究院），論閩南語「㪚」gau^{2}的語源及相關問題

28日タイムスケジュール

	第１会場	第２会場	第３会場	第４会場	第５会場	第６会場
司会	**平井和之**	**三木夏華**	**瀬戸口律子**	**松江　崇**	**石　汝杰**	**遠藤光暁**
9:30～10:00	鈴木　靖	黄　漢君	宮本大輔	蔡　娟	陳　怡君	野原将揮
10:05～10:35	吳　賢妃	葉　秋杏	游　韋倫	王　錦慧	林　緑茜	秋谷裕幸
10:40～11:10	砂岡和子	福田　翔	張　恒悦	連　金發	謝　豐帆	林　蕙珊
11:10～12:10	ポスターセッション					
12:10～13:00	昼食・休憩					
司会	**丸尾　誠**	**三宅登之**	**森　宏子**	**岩本真理**	**秋谷裕幸**	**太田　斎**
13:00～13:30	張　素娟	西村英希	陳　奕廷	熊　娟	張　月琴	王　世豪
13:35～14:05	楊　安娜	上田　裕	金　晶	千野万里子	劉　秀雪	平田昌司
14:10～14:40	下地早智子	徐　富美	王 欣	伊伏啓子	陳　淑娟	呂　昭明
司会	**佐々木勲人**	**張　勤**	**大西博子**	**竹越　孝**	**遠藤雅裕**	**鈴木慎吾**
14:50～15:20	鄭　若曦	鍾　叡逸	李　智麗	山田大輔	申　祐先	吉川雅之
15:25～15:55	葉　瑞娟	中田聡美	包　聯群	宮下尚子	許　婷婷	濱田武志
16:00～16:30	夏　海燕	王　慶	陳　雅玲	山崎雅人	蘇　建唐	吳　瑞文

※ 共同発表の場合には、筆頭発表者のみを表示してあります。

●参加方法

事前登録は不要です。当日直接お越しいただければ結構です。

（１）参加費(予稿集代を含む)		3,000円
（２）10月27日(土)懇親会費	一般	4,000円
	院生・学生	3,000円
（３）10月28日(日)昼食（弁当）代		1,000円

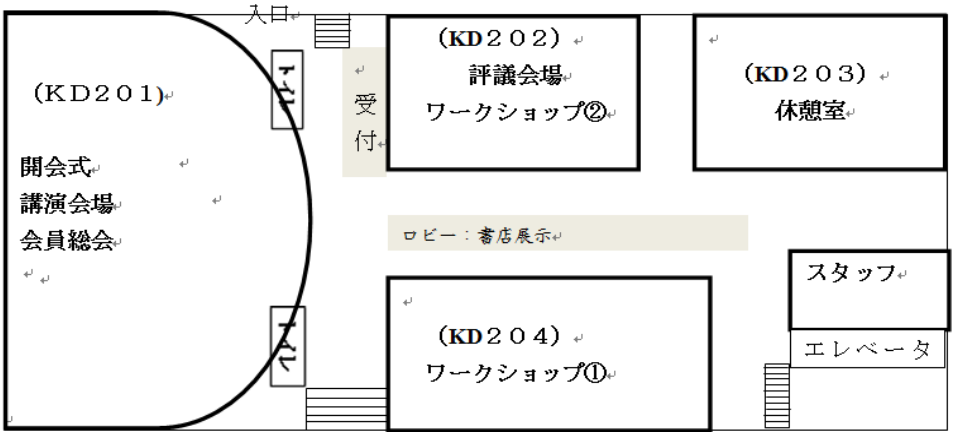
※ お弁当は27日(土)に引換券を前売りします。会場周辺にはコンビニはありますが、飲食店はほとんどありません。前売り券をお買い求めでない方はご自分で28日の昼食をご用意ください。

※ 「予稿集」を２部以上ご購入なさりたい場合は、大会終了後に学会ホームページ
http://www.chilin.jp/annual_meeting/past_issue.html
に記載されている要領に従って好文出版あてにご注文ください。

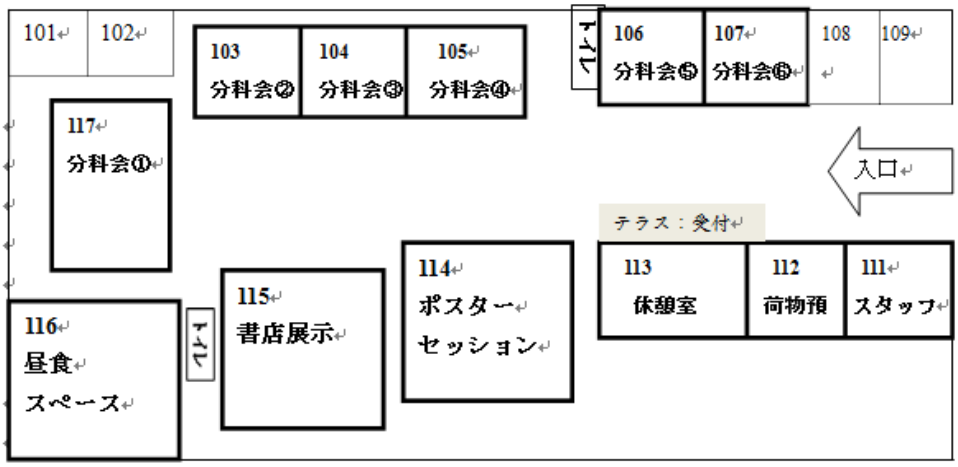
※ 宿泊先の紹介・斡旋はありません。各自でご予約ください。

※ 今年度から会場に事務局のカウンターは設置されません。会費納入などは別の機会に通常の方法で行なってください。

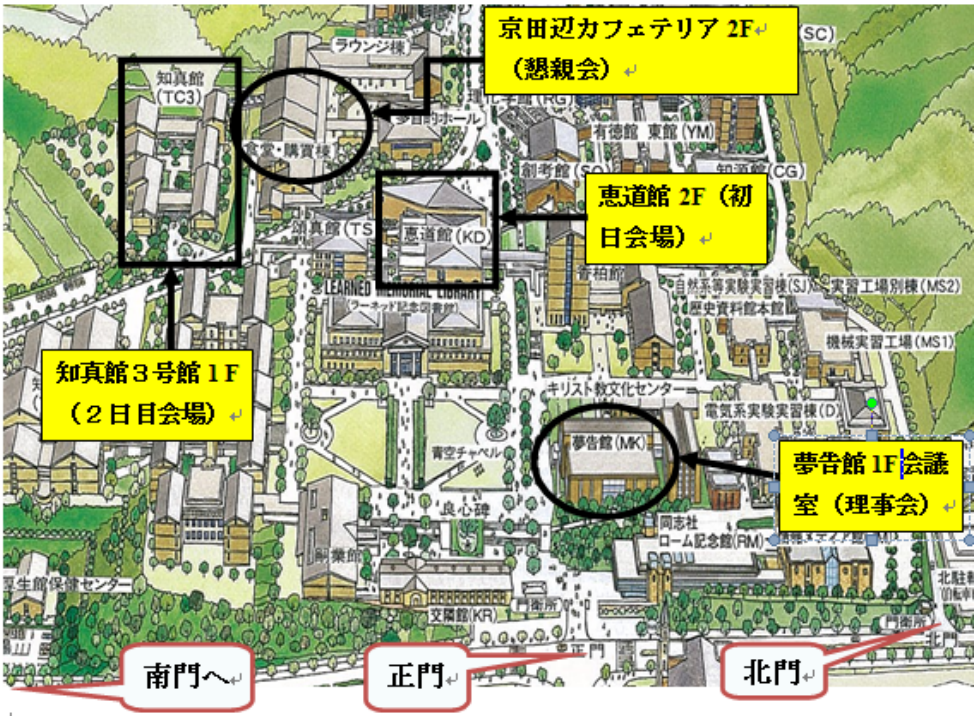
【１日目会場配置図】恵道館(2F)



【２日目会場配置図】(知真館三号館 1F)



【会場周辺配置図】北＝>



道順（興戸/同志社前～大学正門）

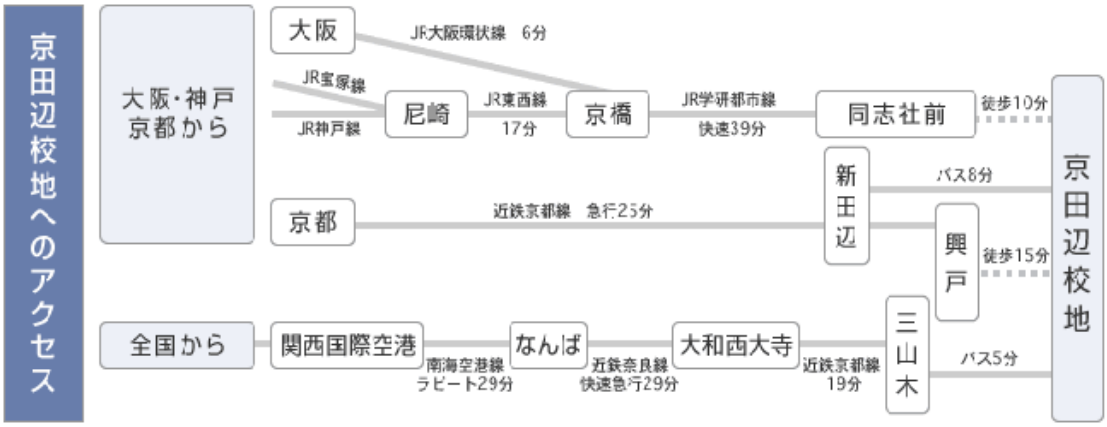


同志社大学京田辺キャンパス
所在地　〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 3-1　TEL.0774-65-7700(沈力研究室)
http://www.doshisha.ac.jp/access/tanabe_access.html

◆会場及び受付は初日と２日目で異なります。
◆ＪＲは同志社前で下車すれば徒歩 10 分、近鉄は興戸で下車すれば、徒歩 15 分。
◆バスご利用の場合、同志社大学正門下車。所要時間は、近鉄新田辺から約 10 分、三山木から約５分。
◆タクシーご利用の場合、近鉄新田辺・JR 京田辺からは約１０分、近鉄・JR 三山木から約５分、1000 円程度。（近鉄興戸、JR 同志社前からはタクシー利用はできません。）
◆車ご利用の場合、南門と北門のところにそれぞれ駐車場があり、駐車可。

【会場までの交通案内】





近鉄新田辺駅発のバス時刻表（2 番のりば，101 系統・同志社大学デイヴィス記念館行き，250 円，9 分）　　**同志社大学正門で下車**

土曜　8:00, 8:20, 8:50, 9:01, 9:15, 9:30, 9:45, 10:01, 10:25, 10:30, 10:44, 11:20, 12:55, 13:29, 14:29, 14:50, 15:35, 17:21, 18:14

日曜　9:30, 10:30, 12:55, 14:50, 15:35, 17:21, 18:14

近鉄・ＪＲ三山木発のバス時刻表（1・2 番のりば，100 系統・同志社大学デイヴィス記念館行き，180 円，5 分）　　**同志社大学正門で下車**

土曜　8:02, 8:18, 8:28, 8:35, 8:48, 8:56, 9:07, 9:23, 9:38, 9:55, 10:08, 10:24, 10:42, 10:55, 11:10, 11:43, 以下 16 時台まで毎時 10 分と 42 分に発車。

日曜　8:35, 8:56, 9:38, 10:08, 10:42, 11:15, 11:43, 以下 15 時台まで毎時 42 分発。